

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	武田建物合同会社様 共同住宅新築工事	階数	地上8F
建設地	相模原市中央区相模原5丁目285-15	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、集合住宅、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年12月26日
敷地面積	658 m ²	作成者	大東建託(株)相模原支店
建築面積	387 m ²	確認日	2017年12月27日
延床面積	2,400 m ²	確認者	大東建託(株)相模原支店

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.3

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	前面道路に面した外観は落ち着いたデザインとした	その他
Q1 室内環境	住宅の断熱等性能等級4相当	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	BEIm=0.70、LED照明設備を導入。	Q3 室外環境(敷地内)
		LR2 資源・マテリアル
		LR3 敷地外環境
		LCCO ₂ 排出率=77%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される